

研究から IT ベンチャーの世界へ

Reasons of diving into an IT startup

°木下 治紀(東工大院理工)

°Haruki Kinoshita (Tokyo Tech)

E-mail: kinoshita.h.aa@m.titech.ac.jp

概要

大学で学んだことを活かす仕事を選ぶのが一般的には最良な選択なのであるように思えるが、一方で他の選択肢が無いわけではない。大学では半導体研究[1]に取り組んでいるが、入社先は IT 系ベンチャー企業である。しかも、半導体には全く関係はなく、技術職でもなく総合職である。

「社会貢献度」「自分のやりたいこと」「働き方」「環境」「給与」「ブランド」など人それぞれ重要視する要素は異なると思うが、この2年間研究活動や就職活動を通して自分なりに自分の価値観と向き合い、どのようなキャリアを選択するか悩み、最終的にはこのような一見全く関連のない道を選択した。私がなぜこの道を選んだのか。そこに至るまでの経緯と志向プロセス、現在のキャリア観について以下の点から話す。

内容

- ・ファーストキャリアとしてベンチャー企業
- ・生い立ち ~ 大学・研究での取り組み
- ・自分の仕事観と決定までの思考プロセス
- ・研究で身についた力と仕事への繋がり
- ・これからキャリア選択を迎える B4・M1 へのメッセージ

理系大学院生のキャリア選択として王道ではないと自覚はしており、一部批判的な印象を受ける方々もいるかと思う。しかし、この先行き不透明で、情報過多な時代に、1人の大学院生がどのようなことを考え、意思決定を行ったのかという生の声として聞いていただきたい。それが、今後キャリアを考えていく上での一助となれば幸いである。

参考文献

[1] 木下他,第 64 回 応用物理学会学術講演会